

西牟婁振興局における連携訓練 訓練概要

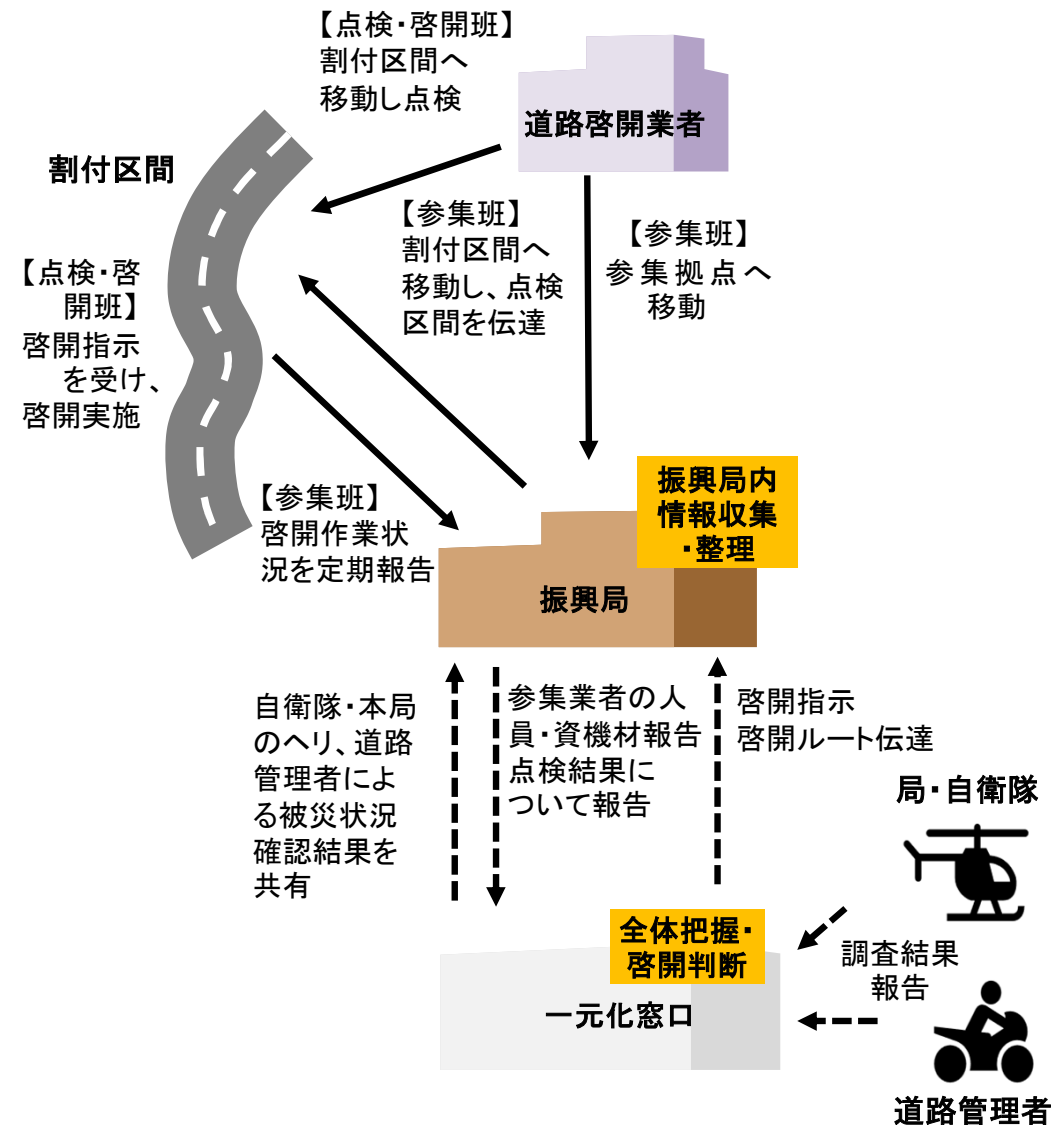
1. 目的・前提

○目的

- ・**通信途絶時**における自動参集を伴う、建設業者・測量設計業者の初動確認（P.2～7）
- ・振興局単位の情報収集
- ・一元化窓口を通じた広域での調整

○前提

- ・和歌山県南部で震度6以上、南海トラフ地震に伴う大津波警報の発表を確認。
- ・西牟婁振興局周辺では、通信（ネット、電話）途絶（一元化窓口は通信可能）
- ・西牟婁振興局ではスターリンクをいち早く設置し、振興局の建物からであれば、情報共有システムを活用して、一元化窓口などとの情報共有が可能。一方で、振興局と業者間の情報共有は対面で実施が必要。
- ・上記の条件下で、発災から啓開を開始し、啓開活動の定期報告が完了するまでの流れを実施。

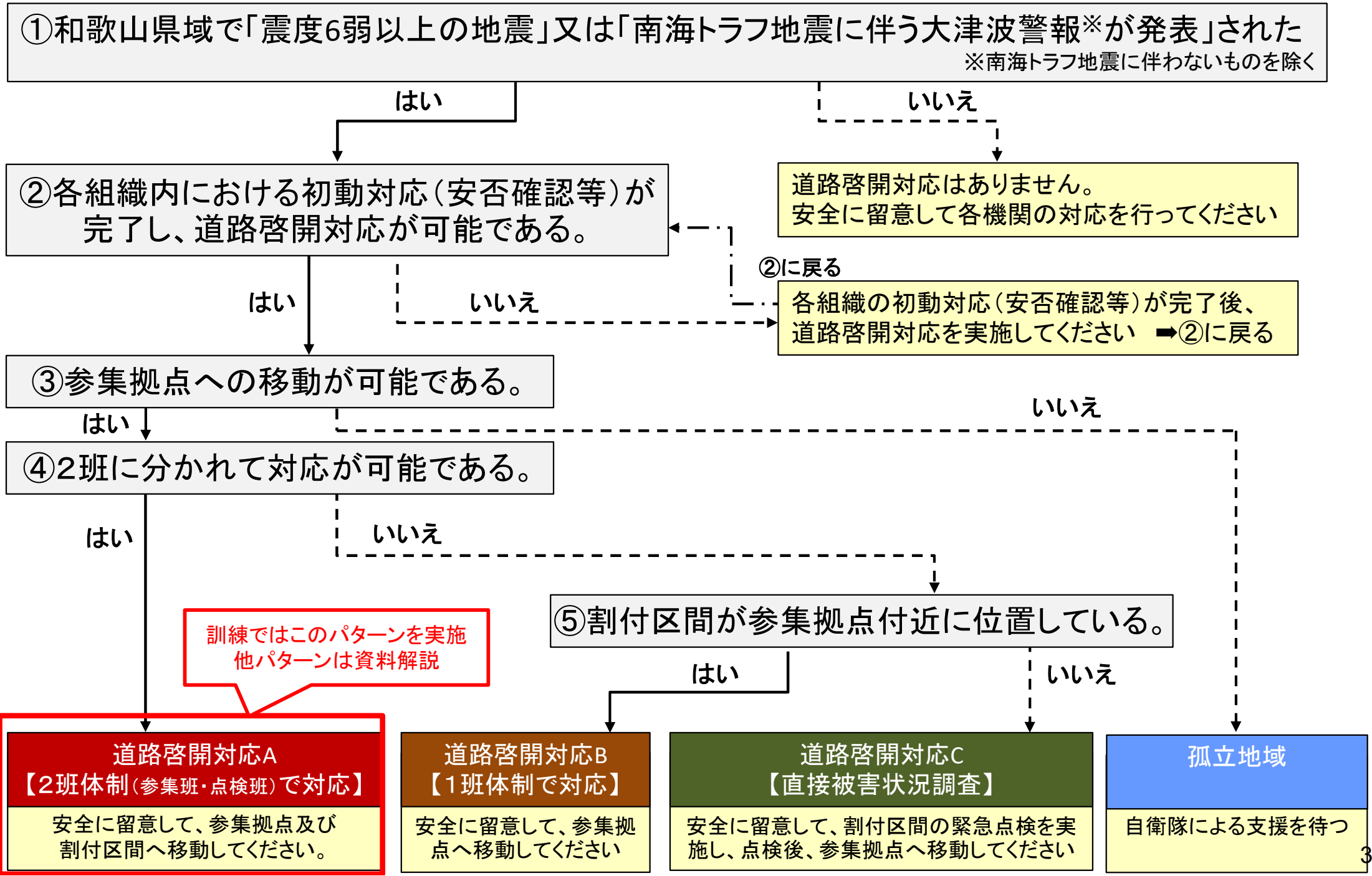


2. 訓練実施形式、参加者

西牟婁部会にて実働訓練を実施し、その様子を全機関へ配信する。

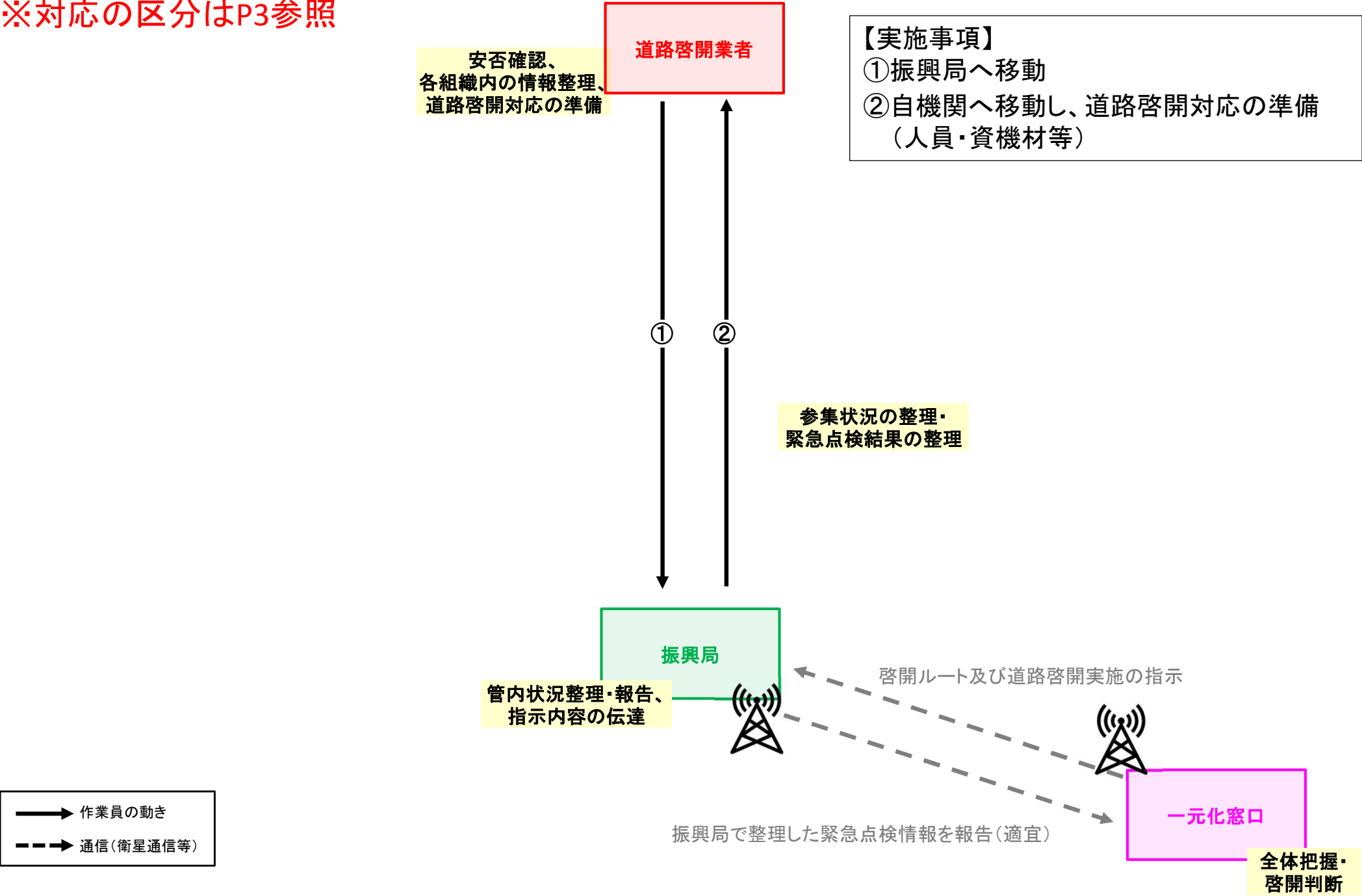
		実演訓練 (現地開催)	解説・中継訓練 (WEB開催)
啓開業者	建設	西牟婁の代表業者	左記以外
	測量		
協会	建設		○
	測量		○
一元化窓口	国	○	
	県	○	
	NEXCO		○
道路管理者	国	○	
	県	○	
	振興局	西牟婁	左記以外
	NEXCO		要調整
市町村			要調整
関西電力送配電			要調整
NTT			要調整
和歌山県警			－
自衛隊			－

3. 建設業者の初動対応（自動発進判断フロー）



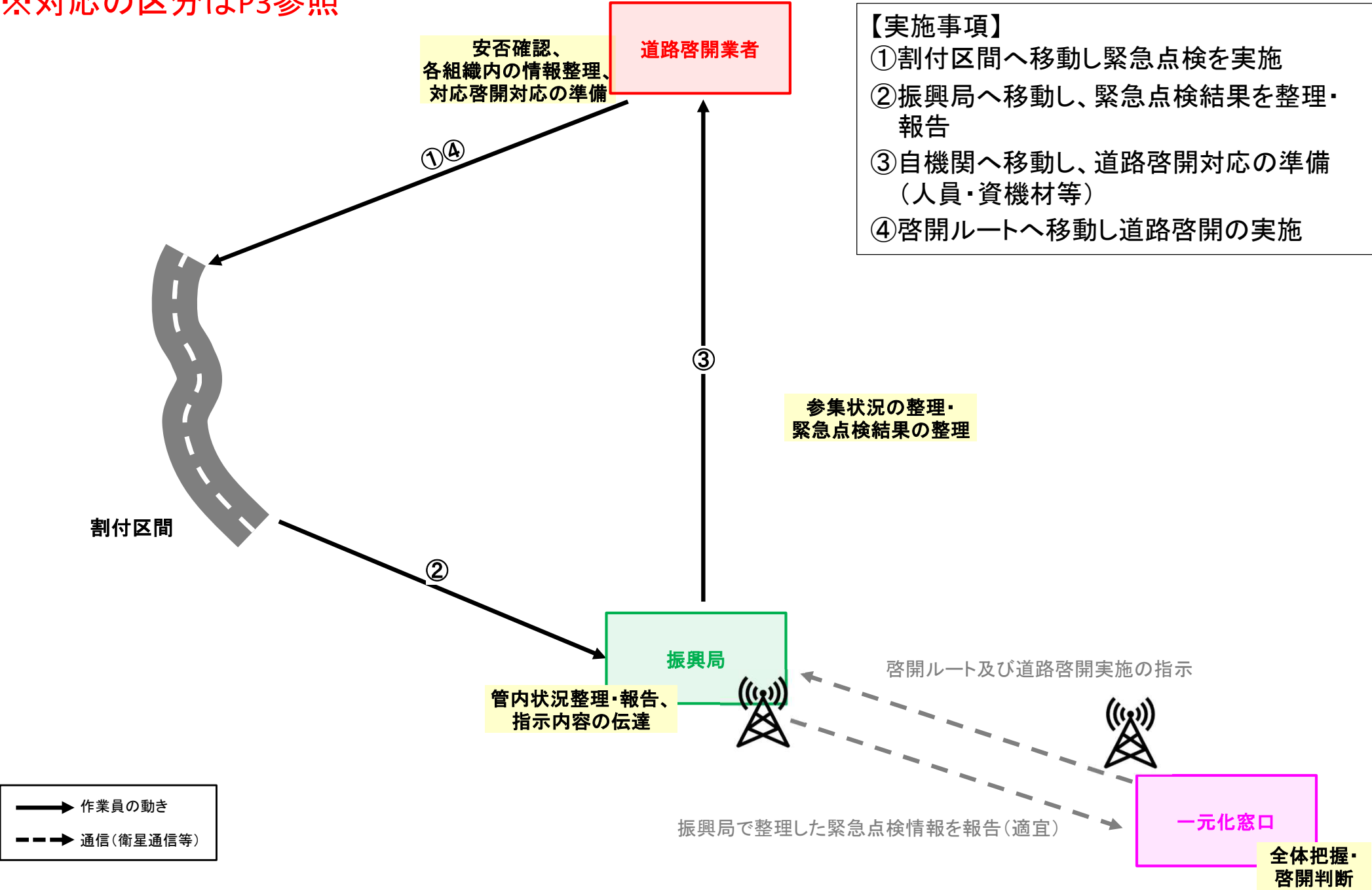
2-1. 建設業者の初動対応:道路啓開対応A【参集班】

※対応の区分はP3参照



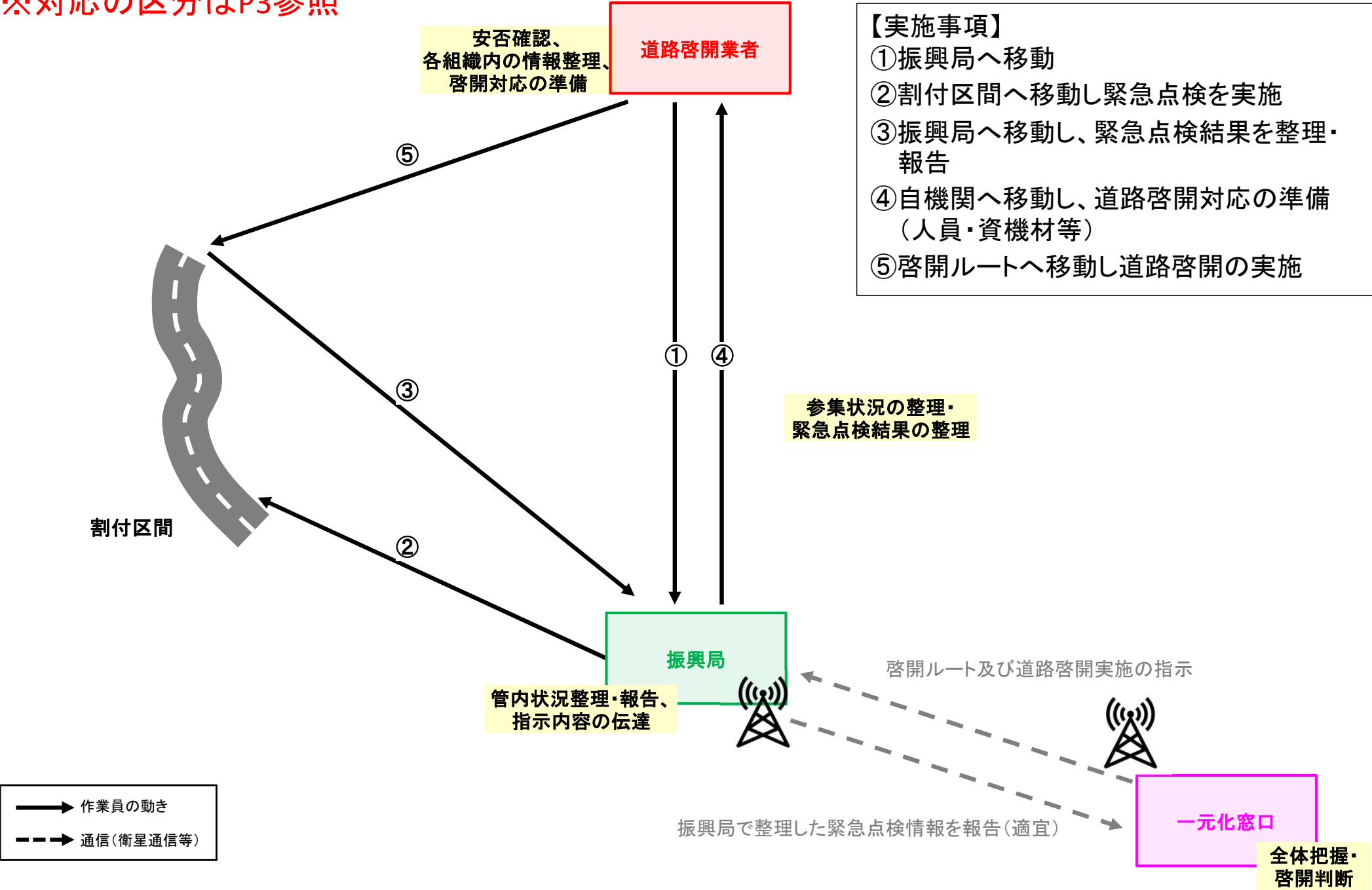
2-1. 建設業者の初動対応:道路啓開対応A【点検班】

※対応の区分はP3参照



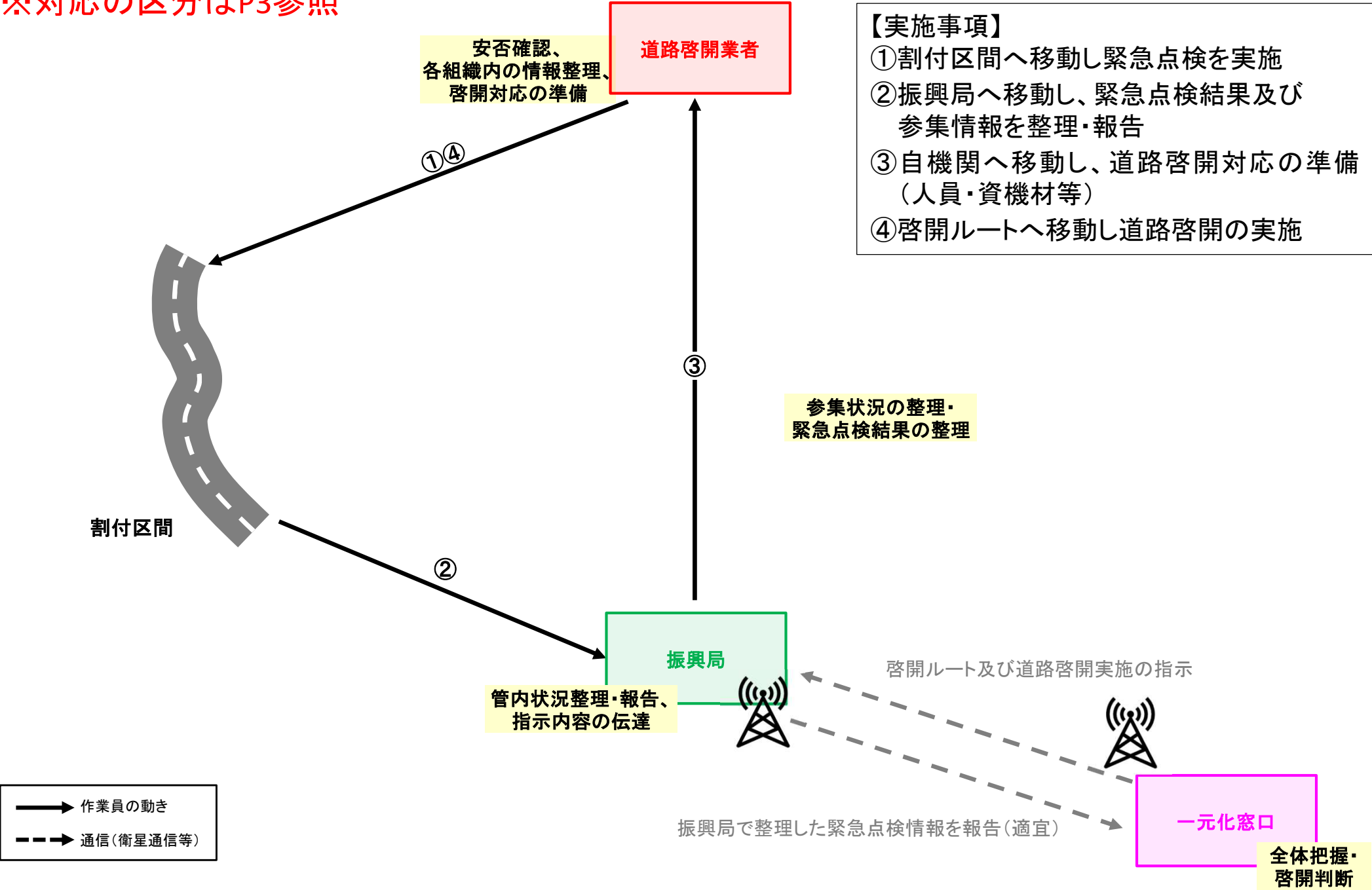
2-2. 道路啓開業者の初動対応:道路啓開対応B

※対応の区分はP3参照



2-3. 道路啓開業者の初動対応:道路啓開対応C

※対応の区分はP3参照



3. 測量設計業者の初動

測量設計業者は、ドローンによる点検を実施し、点検完了後、参集拠点へ参集する。
ドローンを用いた点検箇所としては、業者毎に**エリア**および**エリア内で特に確認してほしいポイント**を事前に設定しておく。

